

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



く最も人気の高いコーナーの一つです。

3月7日は「消防記念日」。1948年のこの日に消防組織法が施行され、「自治体消防」が誕生したことを記念して制定されました。

70周年の節目の今年には各地で様々な催しがありました。札幌市では今月15日、「消防功労表彰式」が開かれ、なんと私は「消防局長表彰」受賞という榮譽に浴しました。

私は「悠悠と。」というシニア向け情報誌を発行しています。山ほどある情報の中から、必要なものをわかりやすく届けようと思いい立ち、「役に立つ、元気になる」をモットーに99年12月に創刊。山あり谷ありの中、おかげさまで満18年が過ぎました。

から「決して間口は広過ぎません」と答えた記憶があります。

そうした中、「防災」や「救急」のことを何度も取り上げてきました。東日本震災が起こったことも影響しています。シニアには、いざという時のためのきちんとした情報提供が不可欠と思ったからです。

「119番通報」「住宅用火災警報器」「非常持ち出し袋」「雪道転倒防止」「AED(自動体外式除細動器)」などについて、対談や特集、相談室といった様々な切り口で紹介してきました。松原泉医師のコラム「(救急)医療の現場から」は、創刊以来続

消防・救急は大変頼もしくありがたい仕組みです。24時間365日一時も休まず活動していて、119番通報すると必ず誰かが応えてくれ、救命や消火につながります。

今回の受賞は「悠悠と。」の誌面作りが、消防・救急の普及啓発に寄与したと評価していただいたのでしよう。長くやってきたからこそと思いますが、ありがたいことですし、励みにもなります。

防災や防火、救急予防は繰り返し言うしかないと思っております。「しつこいやつだなあ」と思われるかもしれませんが、言い続けます。

あつ、命のことも火のことも、くれぐれも自分だけは大丈夫と過信しないでください。油断大敵はホントです。

創刊の頃、ある方から「あれもこれも詰め込み過ぎ。範囲を狭めたら」とのアドバイスをいただきました。しかし、年齢とともに、硬いものが食べにくくなったり、目や耳が弱くなったりはしますが、暮らしが大きく変わるわけではありません。

これまで同様に「食」「旅」「趣味」や「生きがい」が大切。もちろん「法律」「健康」「医療」「福祉・介護」「住まい」のことも欠かせません。それらすべてに対する「情報収集」も必要です。だ